

第6回 新技術発表会 2018 in横浜

注目のNETIS 登録技術を紹介

発表対象は、いずれもNETIS(新技術情報提供システム)に登録された新技術・新工法です。
メーカーなどの担当者が、概要や特長などを紹介します。

日時 2018.10/25 木
13:30~16:05 (受付13:00~)

会場 ラジオ日本クリエイティブ会議室
横浜市中区長者町5-85
三共横浜ビル3F **定員120人**

—— 新技術発表会プログラム ——

- 13:30~13:55
GTフレーム工法 / イビデングリーンテック株式会社
「全面緑化できる吹付のり砕工」
- 13:55~14:20
G棧橋 / ヒロセ株式会社
「製作桁を使用したリース対応の仮設棧橋上部工」
- 14:20~14:45
SR-CF工法 / SR-CF工法研究会
「炭素繊維による耐震補強」
- 14:45~14:55
休憩(10分)
- 14:55~15:20
ゆいサンド工法 / 有限会社りゅうせい
「リサイクル材100%の芝生植生基盤材」
- 15:20~15:45
土留部材引抜同時充填注入工法 / 協同組合Masters
「近接工事や堤防において鋼矢板等を安心して引き抜ける
オンリーワン技術。H鋼杭引抜や水中での施工も可能」
- 15:45~16:05
意見交換&お知らせ

申込方法

ホームページ(URL)

<http://www.kentsu.co.jp>

参加費

無料

申込期限

2018年10月19日(金)

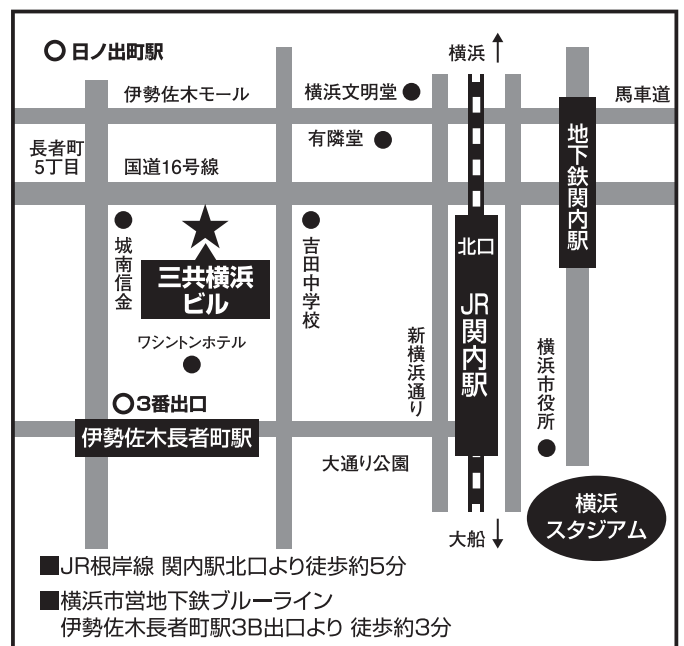
(定員になり次第、締め切らせていただきます)

継続教育

CPD・CPDS認定プログラム

- 建設コンサルタンツ協会(2.08単位)
- 土木施工管理技士会(3ユニット)

アクセス



問い合わせ先

建通新聞社

建通新聞社「新技術発表会」係

TEL.045-681-6024

1

GTフレーム工法／イビデングリーンテック株式会社

全面緑化できる吹付のり砕工

ジオシンセティックスを利用した新しい吹付のり砕工。のり面・斜面に連続したジオグリッドを格子状に設置し、短繊維混合補強砂を吹付けてのり砕を造成することにより、「補強性能」と「環境性能(全面緑化)」を備えたのり面保護工となる。NETIS「平成30年度推奨技術」。

2

G栈橋／ヒロセ株式会社

製作桁を使用したリース対応の仮設栈橋上部工

高強度のG栈橋を桁に使用した、トンネル工事、高架橋工事の仮栈橋として最適なヒロセ工事用栈橋シリーズ。長スパンに対応し、急速施工が実現可能。従来の大型H形鋼や急速施工栈橋よりも、支持杭本数を削減できるので、工期短縮に最適。

3

SR-CF工法／SR-CF工法研究会

炭素繊維による耐震補強

コンクリート系構造物の耐震補強工法で、従来は鋼板巻き立て工法などで対応していた。本技術の活用により、鋼板巻き立て工法で必要な揚重機が不要であり、溶接作業もないため、施工性および安全性の向上が期待できる。また、工期は短く、コストは縮減される。

4

ゆいサンド工法／有限会社りゅうせい

リサイクル材100%の芝生植生基盤材

石炭火力発電所から排出されるクリンカアッシュ(石炭灰)を芝生の植生基盤材に再利用した製品。保水性・透水性・踏圧に優れ根の発育を促進し、芝生の健全生育が期待できる。

5

土留部材引抜同時充填注入工法／協同組合Masters

近接工事や堤防において鋼矢板等を安心して引き抜ける
オンリーワン技術。H鋼杭引抜や水中での施工も可能

土留部材を周辺地盤に影響をほとんど与えることなく引抜く唯一の新技術。中でも軟弱地盤や堤防において仮設材にて土留めを行う場合には、本工法は非常に有効な技術。従来、鋼矢板残置を前提としていた民家や地下埋設物などに近接した工事において、コスト削減と事業損失防止に役立つ。

お申し込みはインターネット(建通新聞「電子版」)で受け付けます

建通 セミナー

で

検索

または

建通新聞「電子版」TOPページから イベント をクリック

申込受付後
受講票を
送付します。